

学 校 名	山形市立第五小学校 〒990-0034 山形市東原町一丁目1番9号 622-0655 FAX 633-9331	校 長	阿部 建夫
		研究主任	岡部 博
研 究 主 題	楽しみ、鍛え、学び合う子どもの育成 ～ 運動技能（動き）の向上をめざして～		
今 年 度 の 研 究 に つ い て	昨年度まで本校では、体育科や教科外体育で「楽しみ、鍛え、磨き合う子ども」をめざすために「動きや技能の向上する」、「学び方が身につく」、「友達との関わりが育まれる」の3つの柱（視点）で子ども像に近づこうと研究を重ねてきた（平成11年度～14年度）。その3つの視点の内容はそれぞれ全て、子どもの運動技能（動き）を向上させるために教師が仕組んできた手だての研究にある。 また本校は、それ以前（平成7年度～10年度）においても、校内研究の中で体育科の授業研究の積み重ねをしてきた。その中で中心におかれて繰り返し研究されてきたものは、運動技能（動き）を向上させるための手だてである。 国語や算数などの各教科において、子どもたちは知識をどれだけ得たか・理解したかで、授業への参加意欲は高まる。「わかった」という自信が、次の学習の意欲へつながっていく。子ども達の既習事項を積み上げ・伸ばすこと、新たな知識を習得させることは、授業における教師の目標であり役割でもある。 これを体育科に当てはめると、知識の獲得は、すなわち運動技能（動き）の向上（高まり）に他ならない。「技能が高まる」＝「できないものができる」ことにより、またこれはできたうまくいった、だからやってみようという次のステップに進む意欲へとつながっていく。 運動が、「できた！」「うまくいった」子をたくさん増やし、「勝ってうれしかった」、「負けて悔しかった」感動を与えていくことが、次の体育の授業への運動意欲・活動意欲につながるものと考える。 本校の目指す子ども像のひとつ「運動大好きな子」につながるために、体育科を中心に授業作り・学級作り・「感動する子ども育成」を目指す。 子ども達の「笑顔」と「涙」は子どもの表情であり、表現である。笑顔は、授業への高い関心・意欲・態度を表し、満足感・達成感・成就感を表す。涙は、不安や悔しさの表情であるが感動・成就の表情でもある。 体育の授業において、子ども達にその達成感・満足感・成就感を与えるためにはどんな手だてをもって技能（動き）を高めていけばよいのか、その手だての足跡を残したい。子どもが感動し、心揺れる授業にするための手だての証を残していきたい。		

研究の組織と内容

研究組織

校長

研究推進委員会

全体会

教頭、教務、研究主任、各学年部代表・特殊部代表

	低学年部会	中学年部会	高学年部会	特殊部会
研究内容	- 授業検討 - 授業実践 - 授業記録（特殊部会、研究推進委員と合体） - 授業のまとめ（授業者） - 子どもの意識調査 - さわやかタイムの記録と分析 - ロング昼休みの記録と分析			

研究計画

4月

5月

研究推進委員会・研究全体会（基本的考え、実践計画、組織について）

授業研究会・事後研究会

全員授業：大研＝各学年部1名・他小研

- ・5/27 低学年部大研
- ・6/30 低・学年部小研
- ・10/15 中学年部大研
- ・10/21 低・高学年部小研
- ・11/6 中・高学年部小研
- ・11/13 高学年部大研
- ・11/19 低・中学年部小研
- ・11/28 特殊大研
- ・12/3 低・高学年部小研
- ・12/10 中・高学年部小研

12月

1月

2月

研究全体会（研究のまとめについて）

研究全大会（今年度の研究の成果と課題・来年度の研究について）